

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22 年 3 月 4 日

【評価実施概要】

事業所番号	0590200069
法人名	社会福祉法人 能代市社会福祉協議会
事業所名	能代市緑町グループホーム
所在地	秋田県能代市緑町7-1 7 (電 話) 0185-54-8511
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成22年3月4日

【情報提供票より】 (平成22年2月4日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成12年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 3人, 非常勤 9人, 常勤換算	9.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 平屋 造り
	1 階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷 金	有 ( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		780 円	

(4) 利用者の概要 ( 2月5日現在 )

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名	
要介護 1	3	要介護 2		1		
要介護 3	4	要介護 4				
要介護 5	1	要支援 2				
年齢	平均	82 歳	最低	64 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	能代山本組合総合病院・島田病院・鈴木歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

能代市の中心街に位置し、病院や商店、福祉施設等が近隣にあり、生活環境の豊かな1ユニットのホームです。職員は、日中はパート職員によって人員配置を厚くされ、また、夜間帯には夜勤専用職員2名が配置され、緊急時等に備える等手厚い職員体制をとられています。併設施設と自由に行き来ができ、交流も盛んであり、運動機能維持や生活の活性化に繋げておられます。運営推進会議等を通じ、地域への認知度も高く交流も盛んであり、地域に根差したホームづくりが行われております。また、職員は、仲間としての和を保ち、利用者との過ごす時間の大切さと重みを自覚し「明るく楽しく」をモットーに業務に就かれています。そのため、職員・利用者ともに、協働しているかのように、「できること」が自然に取り入れられ、明るく楽しんで生活している姿の観られるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価では、地域密着型サービスとしての理念、職員を育てる取り組み、現状に即した介護計画の見直しの3点が挙げられていましたが、実際に行われていることのさらなる向上を目指して工夫してほしい項目として挙げられ、改善に向けた話し合いが持たれ、改善に取り組みまれておりました。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員全員から自己評価の項目を見ていただき、各項目の理解とこれまでの取り組み状況を話し合い、管理者が記入をされ、再度、職員の同意を得、施設長の決済をもらっての提出となっております。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	2か月に1度の定期的な開催が行われており、包括支援センター、地区自治会長、民生児童委員、法人代表者、利用者、利用者家族等がメンバーとなっています。毎日のように行われる行事報告をメインに、事業計画、理念、今年後から開始された情報の公表制度、防災訓練、夏祭り、外部評価等について理解を深められ、メンバーからの忌憚のない活発な意見交換によって、運営に活かした取り組みが行われています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	契約時の説明や掲示、意見箱の設置、面会時や電話等で意見や苦情の引き出し、さらにアンケートの実施、運営推進会議での家族等の意見によって、改善に向けた取り組みが行われ、運営に反映されております。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議を通じて、地域の方々へのホーム状況が伝えられ、ホームに対する認知度も高く、双方の各種の行事への参加や散歩中の立ち寄り、地域の方の庭先でのお茶のみ等、地域の一員としての活動が行われております。また、避難訓練では、地域の方々の参加・協力も得て実施され、さらに演芸、紙芝居、読み聞かせ、草取り、窓拭き、ジュニアボランティア等のボランティアの方々への訪問が非常に多く、日常的に地域との連携が図られています。

## 2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から地域との関わりを盛り込んだ事業所独自の理念作り出しておられます。簡潔で分かりやすい理念について話し合いがもたれ、検討中です。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の目に触れる3か所に掲示をされています。日常的な関わりの中で理念を振り返り、共有しながら、理念の実践に取り組まれています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として、地域行事への参加や併設施設での行事やホーム内行事に地域の方々の参加を得、交流を深めている他、買い物や畑作業中の方々との日常的な会話や近所に向いての庭でお茶をご馳走になる等、地域との交流は盛んに行われておられます。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を理解され、評価を活かし、具体的な改善に向けて、積極的に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の運営推進会議が、包括支援センター職員、近隣自治会長、民生委員、法人代表者、利用者家族代表者等によって構成され、忌憚のない活発な意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	能代市社協が経営母体であり、市担当者への情報の提供や情報交換、相談や助言が受けやすく、得た情報はサービスの質の向上に繋がっております。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時や電話での報告の他、2か月に1回発行される写真入りのホーム便りや請求書送付時に一筆添える等され、さらに写真の送付によって暮らしぶりを報告されています。また、職員の異動はホーム便りと面会時に紹介が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に苦情受付窓口の説明をされ、さらにホーム内の掲示、ご意見箱の設置をされている他、面会時や電話で意見・要望の引き出しが行われ、運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しい職員を受け入れやすいように自己紹介や話掛けによって、大きな混乱もなく、受け入れられております。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内が公開され、外部研修に参加した職員から、復命研修が行われ、活用できるように話し合いが行われております。また、認知症や感染症をはじめとした独自の内部研修も行われております。さらに、資格取得への働きかけもあります。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会への加入によって、全職員が参加できるようになり、情報交換等の交流が図られ、サービスの質の向上に繋がっております。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族が安心してサービスを利用できるように、入居前に見学や他利用者との短時間の関わりによって理解を得られるように工夫をされ、混乱なく利用ができるよう取り組まれております。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人ひとりの生活歴やこれまでの生き方を理解され、利用者本位の生活支援ができるように、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、会話や仕草からチャンスを見逃さず、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように居室等で話し合いの場を設け、把握に努められています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、職員会議等で話し合われ、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月を基準にケアプランが立案され、担当者会議で話し合いによるモニタリングが行われ、支援経過に記載もされています。また、状態変化時には、随時の見直しが行われています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設としての機能を活かし、各種の行事への参加や業務支援等で、また、利用者・家族の冠婚葬祭等の要望に柔軟な対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に利用されていたかかりつけ医や希望の病院受診が出来るように家族の協力も得ながら、支援されている他、訪問歯科診療も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族へは、重度化した場合や終末期の在り方について、ホームの体制から限界があることを契約時に説明をされ、更に都度の説明によって、納得していただいております。また、職員は、方針を理解し、共有できております。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、書類等は、鍵のかかるロッカーに保管がされ、個人情報の取り扱いにも配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決められた日課についても、利用者本意の生活支援を念頭に動作の活性化を図り、利用者一人ひとりのペースを尊重され、機能維持に取り組まれ、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ジャガイモの皮むきやキャベツの千切り、だま子持ち作り等の下ごしらえや配膳・下膳等の一般的な家事も含めて、楽しみながら利用者の力を発揮できるようにされ、職員も一緒に食事を楽しまれています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外、入浴は、毎日でも可能で、一日置きには、入浴できるように勧めています。入浴できない時には、炭酸の足浴が行われております。また、入りたがらない利用者にも希望やタイミングを見ながら、どうしてもだめな時には家族の協力も得ながら、支援が行われています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。また、併設施設のレクリエーションや行事へ参加することで楽しみや気晴らし支援に繋げております。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や近所の散歩、地域行事、近隣文化施設の催しものへの参加、ドライブ、花見、小旅行、併設施設での行事への参加等々の他、冠婚葬祭等、利用者・家族の希望に沿った外出支援が行われています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中・夜間想定火災に対する訓練が、地域の方々の協力を得、消防署員立ち合いの下、年に2回行われております。また、併設施設の協力体制も整っております。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況を把握され、食事摂取状況や水分量に配慮され、併設施設の栄養士にアドバイスをもらいながら、概ね1500kcal/日の栄養バランスのとれた食事が提供されています。また、カロリー制限にある利用者への配慮もあります。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	植物や手作りの作品によって季節感を表し、テレビや本棚、ソファ等の配置が家庭的な雰囲気を醸し出しています。また、空気清浄機の使用によって不快な臭いもなく、カーテンによって光への配慮もあり、居心地良く快適な共有空間を作り出しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	手作りのカレンダーや家族の写真、作品、行事の写真等が飾られていたり、洗濯物が干されていたり、テレビ、テーブルや椅子の配置によって、利用者本人が居心地良く過ごせる空間作りが行われています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。